

平成22年6月期 第3四半期決算短信

平成22年4月28日

上場会社名 レーザーテック株式会社

上場取引所 JQ

コード番号 6920 URL <http://www.lasertec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡林 理

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 内山 秀

四半期報告書提出予定日 平成22年5月13日

TEL 045-478-7111

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年6月期第3四半期の連結業績(平成21年7月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月期第3四半期	5,109	4.4	△186	—	△173	—	△127	—
21年6月期第3四半期	4,892	—	△895	—	△910	—	△719	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年6月期第3四半期	△11.30	—
21年6月期第3四半期	△63.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年6月期第3四半期	17,917	11,702	65.0	1,034.46
21年6月期	19,867	11,973	60.0	1,058.54

(参考) 自己資本 22年6月期第3四半期 11,651百万円 21年6月期 11,922百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年6月期	—	0.00	—	15.00	15.00
22年6月期	—	0.00	—	—	—
22年6月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年6月期の連結業績予想(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,700	4.7	430	—	370	—	200	—	17.75

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 —社 (社名) 除外 —社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年6月期第3四半期	11,785,800株	21年6月期	11,785,800株
② 期末自己株式数	22年6月期第3四半期	522,727株	21年6月期	522,727株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年6月期第3四半期	11,263,073株	21年6月期第3四半期	11,263,107株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想は、本資料の発表日現在においての将来の事業環境の動向、競合状況、為替変動等に関する予想を前提にしており、実際の業績は、今後の様々な要因により、業績予想と異なる場合があります。詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間における世界経済は、新興国中心に回復の兆しを見せてまいりましたが、米国及び日本においては失業率が高止まりするなど厳しい状況が続いており、景気の回復はいまだ本格化していません。

こうした状況にはありますが、半導体業界では、DRAM、フラッシュメモリなどの価格が引続き堅調で、先端デバイスメーカーでは、微細化を中心に積極的な設備投資が始まりました。

また、FPD業界では、各国の景気刺激策の効果もあり、各パネルメーカーの工場は高水準で稼働しております。しかし設備投資につきましては、中国を中心に複数の新たな投資計画が発表されましたが、具体的な投資の開始時期は今年後半からとみられております。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の売上高は51億9百万円（前年同期比4.4%増加）となりました。

製品目別に見ますと、半導体関連装置が27億円（前年同期比118.0%増）、FPD関連装置が14億48百万円（前年同期比43.6%減）、レーザー顕微鏡が2億43百万円（前年同期比37.9%減）となりました。

連結損失につきましては、固定費等の削減を進めたものの、営業損失が1億86百万円（前年同期は営業損失8億95百万円）、経常損失が1億73百万円（前年同期は経常損失9億10百万円）、四半期純損失が1億27百万円（前年同期は四半期純損失7億19百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は179億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億50百万円減少いたしました。これは主に、仕掛品が6億37百万円減少したこと、受取手形及び売掛金が12億57百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、当第3四半期連結会計期間末残高は62億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億79百万円減少いたしました。これは主に、新株予約権付社債が10億円減少したこと、短期借入金が5億円減少したこと、前受金が1億9百万円減少したことによるものであります。

株主資本につきましては、当第3四半期連結会計期間末残高は117億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億96百万円減少いたしました。これは剰余金の配当を1億68百万円実施したこと、四半期純損失を1億27百万円計上したことによるものであります。

株主資本に評価・換算差額等及び新株予約権を加えた純資産合計は117億2百万円となり、また自己資本比率は65.0%（前連結会計年度末60.0%）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億93百万円増加し、17億27百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は18億39百万円（前年同期は24億58百万円の使用）となりました。これは主に、売上債権の減少額12億49百万円、たな卸資産の減少額6億39百万円、減価償却費2億65百万円などの資金増加要因が、税金等調整前四半期純損失2億10百万円、前受金の減少額1億10百万円などの資金減少要因を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は27百万円（前年同期比90.3%減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出15百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は16億13百万円（前年同期は15億36百万円の獲得）となりました。これは、新株予約権付社債の買入消却による支出9億44百万円、短期借入金の純減少額5億円及び配当金の支払額1億68百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の世界経済は、欧州諸国の財政問題などの不安要因はあるものの、中国やその他新興国を中心に緩やかに回復基調が続くものと思われます。

当社といたしましては、引き続き固定費等の削減に努め、半導体関連装置につきましては、設備投資の回復に伴う受注・売上計画の達成を、またFPD関連装置につきましては、受注済み装置の確実な検収をすすめ、今期業績予想の達成を目指してまいります。

以上により、平成21年8月10日に発表した通期連結業績予想についての変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,768,248	1,571,244
受取手形及び売掛金	3,131,999	4,389,770
仕掛品	3,012,771	3,649,784
原材料及び貯蔵品	599,788	599,683
繰延税金資産	482,661	359,959
その他	217,203	297,116
貸倒引当金	△9,557	△9,666
流動資産合計	9,203,115	10,857,893
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,714,204	2,894,589
機械装置及び運搬具（純額）	43,555	53,828
工具、器具及び備品（純額）	157,042	204,286
土地	4,254,773	4,254,773
有形固定資産合計	7,169,576	7,407,478
無形固定資産	574	567
投資その他の資産		
投資有価証券	237,467	238,572
長期未収入金	513,338	586,672
繰延税金資産	517,494	546,126
その他	275,574	230,656
投資その他の資産合計	1,543,875	1,602,027
固定資産合計	8,714,025	9,010,073
資産合計	17,917,141	19,867,967

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	384,297	385,181
短期借入金	600,000	1,100,000
1年内償還予定の新株予約権付社債	4,000,000	—
未払法人税等	24,671	10,962
前受金	289,216	398,968
賞与引当金	107,997	—
製品保証引当金	151,182	165,241
その他	315,586	496,175
流動負債合計	5,872,952	2,556,530
固定負債		
新株予約権付社債	—	5,000,000
長期未払金	60,400	60,400
繰延税金負債	893	1,516
退職給付引当金	280,706	276,086
固定負債合計	342,000	5,338,003
負債合計	6,214,952	7,894,533
純資産の部		
株主資本		
資本金	931,000	931,000
資本剰余金	1,080,360	1,080,360
利益剰余金	10,764,434	11,060,761
自己株式	△993,964	△993,964
株主資本合計	11,781,829	12,078,156
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△4,746	△25,534
為替換算調整勘定	△125,811	△130,105
評価・換算差額等合計	△130,557	△155,640
新株予約権	50,917	50,917
純資産合計	11,702,189	11,973,433
負債純資産合計	17,917,141	19,867,967

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成21年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成22年3月31日)
売上高	4,892,572	5,109,024
売上原価	3,280,513	3,303,439
売上総利益	1,612,058	1,805,584
販売費及び一般管理費	2,507,742	1,992,266
営業損失(△)	△895,684	△186,681
営業外収益		
受取利息	8,379	2,927
受取配当金	2,771	980
社債償還益	—	55,250
固定資産賃貸料	3,368	3,143
その他	6,363	2,398
営業外収益合計	20,882	64,699
営業外費用		
支払利息	5,736	9,992
固定資産賃貸費用	—	26,138
為替差損	28,537	15,705
その他	981	0
営業外費用合計	35,255	51,836
経常損失(△)	△910,057	△173,819
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	148
補助金収入	6,566	—
固定資産売却益	599	6
特別利益合計	7,165	155
特別損失		
固定資産処分損	1,821	403
固定資産圧縮損	6,566	—
減損損失	22,601	—
投資有価証券評価損	141,328	35,934
その他	6,551	—
特別損失合計	178,868	36,337
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,081,759	△210,001
法人税、住民税及び事業税	10,412	26,741
法人税等調整額	△372,829	△109,362
法人税等合計	△362,417	△82,620
四半期純損失(△)	△719,342	△127,380

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,081,759	△210,001
減価償却費	358,812	265,323
減損損失	22,601	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,130	△148
賞与引当金の増減額(△は減少)	152,868	107,997
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△116,600	—
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△52,272	△13,531
退職給付引当金の増減額(△は減少)	55,900	3,458
受取利息及び受取配当金	△11,150	△3,907
支払利息	5,736	9,992
為替差損益(△は益)	75,337	11,447
社債償還益	—	△55,250
有形固定資産売却損益(△は益)	△599	△6
有形固定資産処分損益(△は益)	1,821	403
固定資産圧縮損	6,566	—
長期未収入金の増減額(△は増加)	66,768	73,334
投資有価証券評価損益(△は益)	141,328	35,934
売上債権の増減額(△は増加)	1,151,268	1,249,632
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,346,601	639,026
未収入金の増減額(△は増加)	△535,123	61,107
仕入債務の増減額(△は減少)	310,903	△884
前受金の増減額(△は減少)	430,053	△110,584
その他	△316,423	△204,092
小計	△1,677,436	1,859,248
利息及び配当金の受取額	14,448	4,555
利息の支払額	△6,535	△9,759
法人税等の支払額	△788,926	△14,250
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,458,450	1,839,792
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△35,150	—
定期預金の払戻による収入	1,123	—
有形固定資産の取得による支出	△46,485	△15,443
有形固定資産の売却による収入	663	1,141
無形固定資産の取得による支出	△53,897	—
投資有価証券の取得による支出	△135,296	—
その他	△14,821	△13,216
投資活動によるキャッシュ・フロー	△283,862	△27,517
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,100,000	△500,000
社債の償還による支出	—	△944,750
自己株式の取得による支出	△99	—
配当金の支払額	△563,158	△168,946
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,536,742	△1,613,696
現金及び現金同等物に係る換算差額	△117,359	△5,174
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,322,930	193,403
現金及び現金同等物の期首残高	2,855,496	1,533,694
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,532,566	1,727,098

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。